# 第８回科学の甲子園全国大会開催概要

## １．目的

第８回科学の甲子園全国大会（以下、「全国大会」という。）は、国立、公立、私立の高等学校、中等教育学校後期課程及び高等専門学校（以下、「高等学校等」という。）の生徒等を対象とした科学技術・理科・数学等における複数分野の競技を開催することにより、全国の科学好きな生徒等が集い、競い合い、活躍できる場を構築し、提供することで、科学好きの裾野を広げるとともに、トップ層を伸ばすことを目的とする。

## ２．全国大会の実施・協力体制

①主催　国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）
②共催　埼玉県、埼玉県教育委員会、さいたま市、さいたま市教育委員会、
　　高等学校文化連盟全国自然科学専門部（予定）
③後援　文部科学省（予定）、公益社団法人日本理科教育振興協会
④都道府県教育委員会、その他の関係機関の協力を得て開催する。

## ３．開催日程

①平成３１年３月１５日（金）～１８日（月）の日程で全国大会を開催する。
②大会の日程は以下のとおり（行事は変更される場合がある）。

| | |
|---|---|
| ３月１５日（金） | 開会式、オリエンテーション、筆記競技、スワップミート |
| ３月１６日（土） | 実技競技 |
| ３月１７日（日） | 特別シンポジウム、表彰式、協働パートナー等によるブース展示、フェアウェルパーティー |
| ３月１８日（月） | エクスカーション、解散 |

## ４．場所

ソニックシティ（埼玉県さいたま市大宮区桜木町１丁目７番地５）及び
サイデン化学アリーナ【さいたま市記念総合体育館】（埼玉県さいたま市桜区道場４丁目３番地１）

## ５．出場チーム

①各都道府県教育委員会は当該都道府県内のすべての高等学校等を対象とした全国大会の代表を選考するための都道府県大会を行う。その実施方法は当該都道府県教育委員会の定めるところによる。
②全国大会出場チームは、１都道府県１チームとする。
③全国大会出場チームは１校単位で編成する。
④出場チームは高校１、２学年の生徒（中等教育学校後期課程及び高等専門学校にあっては同年次の生徒または学生）で構成する。
⑤出場チームの員数は６人以上８人以内とする。

６．競技の種類

大会競技は筆記競技と実技競技からなる。

① 筆記競技

筆記競技は、理科、数学、情報の中から、習得した知識をもとにその活用について問う問題で競うものとする。なお、教科・科目の枠を超えた融合的な問題も出題される。

②実技競技

実技競技は理科、数学、情報に関わる実験、実習、考察等、及び科学技術を総合的に活用して、ものづくりの能力、コミュニケーション能力等により課題を解決する力を競うものとする。

７．競技の形式

筆記競技、実技競技ともに、各出場チームが競技ごとに定められた複数人からなる競技チームを構成し、当該競技チームが問題等を分担、相談するなど協働して成果を創出し、その成果を競い合う形式のものとする。

競技数、競技者数、配点比率及び競技時間は以下のとおり。

| 種　目 | 競技数 | 競技者数 | 配点比率 | 競技時間 |
|---|---|---|---|---|
| ①筆記競技 | 1競技 | 6名／1競技 | 筆記競技と実技競技の配点比率は1：2とする。 | 120分程度 |
| ②実技競技 | 3競技 | 3～4名／1競技 | | 競技毎に決定 |

８．表彰等

①主催者が定めた審査委員会が、各競技の成績点数の合計によって優勝チームを決定する。

②優勝チームに、文部科学大臣賞を授与する。

③主催者は、協賛企業等を広く募り、その他の表彰を授与する。

④大会成績上位の出場チームの成績を公表する。出場チームの成績は当該出場チーム及び当該教育委員会に提供する。

９．費用負担

①出場チームの選手及び引率教員１名の全国大会会場までの往復交通費と宿泊費等は、原則として主催者が負担する。

②都道府県大会、及び、選考された代表チームの研修にかかる費用のうち、認められるものについてはJSTがその費用を支援する。但し、都道府県にも応分の負担を求めるものとする。

１０．都道府県への支援

９.②の支援のほか、JSTは都道府県が代表チームを選考、研修できるよう、以下のような支援を行う。

①筆記競技、実技競技の問題の例の提供

②その他選考に係る情報の提供

以上